

2023 北方領土返還要求 北海道・東北国民大会を開催します！

択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の北方四島は、未だかつて外国の領土となったことがない我が国固有の領土です。その北方四島は、1945年当時のソ連に不法に占拠され、現在もその状態は続いています。

ロシアのウクライナ侵略に起因して、日ロ関係はこれまでになく厳しい状況ですが、北方領土問題の早期解決を強く願い、国民が一丸となって、より一層強力な返還要求運動が展開されるよう北海道・東北国民大会を開催します。

色丹島穴澗湾

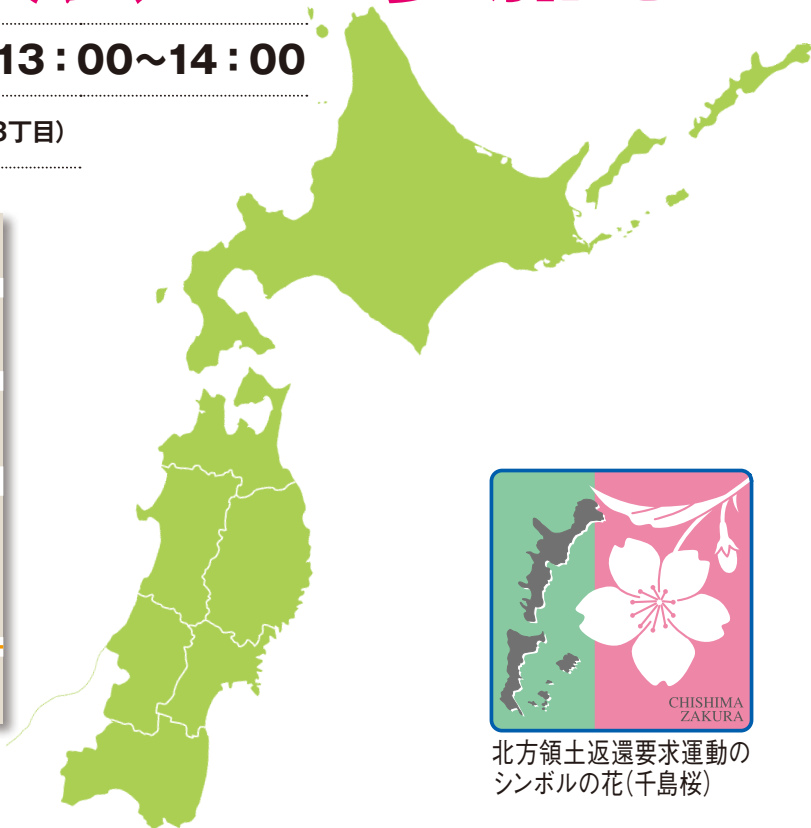
あなたもぜひ大会にご参加を!!

と き: 令和5年 8月25日 金 13:00~14:00

ところ: 道新ホール (札幌市中央区大通西3丁目)



公共交通機関でのご来場をお願いします



北方領土返還要求運動の
シンボルの花(千島桜)

主 催 / 北方領土返還要求北海道・東北国民大会実行委員会

お問い合わせ先 / 公益社団法人 北方領土復帰期成同盟

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3番地 敷島プラザビル3階 TEL.011-205-6500

歴史が語る真実 —領土の画定—

江戸時代



江戸幕府撰
正保日本図
(1644年)

1604年(慶長9年)、江戸幕府は松前藩に蝦夷地での交易権を認めました。松前藩は、北方領土や千島列島に住むアイヌの人々とも交流を始めました。

1 日魯通好条約(1855年)



日露の国境は、択捉島とウルップ島の間決められ、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島は日本の領土として画定されました。また、樺太は両国民の混住の地となりました。

2 樺太千島交換条約(1875年)



千島列島をロシアから譲り受けるかわりに、樺太全島を放棄しました。ウルップ島より以北を日本が譲り受けることを定めています。

3 ポーツマス条約(1905年)



1904年(明治37年)の日露戦争の後、この条約で樺太の北緯50度以南が日本の領土となりました。

北方領土関連年表 —江戸時代からソ連の占拠まで—

- 1635年 松前藩、北海道全島及び千島、樺太を含む蝦夷地方の調査を行う。
- 1644年 江戸幕府、「江戸幕府撰正保日本図」を作成し、「クナシリ、エトホロ、ウルフ」などの島名を記載する。
- 1785年 最上徳内、幕府の命により国後島、択捉島へ向かい、調査する。
- 1798年 近藤重蔵、最上徳内、択捉島に渡り「大日本恵登呂府」の標柱を建てる。
- 1799年 高田屋嘉兵衛、国後・択捉島間に航路を開く。
- 1800年 近藤重蔵、高田屋嘉兵衛らを択捉島に派遣、漁場を開き、行政府をおく。
- 1808年 間宮林蔵、樺太を探検する。

- 1855年 日魯通好条約を結ぶ。
- 1875年 樺太千島交換条約を結ぶ。
- 1905年 ポーツマス条約を結ぶ。
- 1925年 日ソ基本条約に調印。(日ソ国交樹立)
- 1945年 日本がポツダム宣言を受諾、終戦。その後ソ連が北方四島を不法占拠する。
- 1946年 ソ連が千島列島ならびに南樺太の領有を宣言する。ソ連が千島列島・樺太・色丹島・歯舞諸島(現、歯舞群島)をソ連に編入することを宣言する。